



# 保育士、 母校に帰る。

## 和光大学編

「異質力で、輝く。」を掲げ、  
学生一人ひとりの違いを大切にしている  
和光大学。

山口准教授の紹介をきっかけに、  
苑田さんは社会福祉法人厚生館福祉会で  
実習やアルバイトを経て、入職を決めた。  
山口先生と苑田さんに、同大学での学びと  
保育現場での実践について語ってもらった。

——お二人が出会ったきっかけは何ですか？

【山口先生】 苑田さんが2年生の時に私が担当する保育インターンシップに参加し、翌年に私のゼミを選んでくれました。卒業論文や幼稚園実習でも関わっています。

【苑田さん】 山口先生は、いつも自然に場を和ませてくれますよね。先生でありつつも、仲の良いお姉さんという感じで、落ち込んでいる時も「どうしたの?」「大丈夫?」といつも気にかけてくれます。

【山口先生】 苑田さんは本校の経済経営学部を卒業後、保育を学ぶために再入学をしています。そのため、私もほかの学生も苑田さんをつい頼りにしてしまうので、どちらが年上だかわからない時もありましたよね。いつもリーダーシップを發揮して周りを引っ張ってくれて、グループをまとめる力も備えています。

——山口先生のゼミで印象に残った出来事を教えてください。

【苑田さん】 ゼミ初日に山口先生から言われた「余白のないところから良いものは生まれない」という言葉が、特に印象に残っています。自分が行き詰まっている時や忙しい時、気持ちに余裕がない時は何をしてもうまくいきません。山口先生にそう言われてからは、忙しいからさらに時間を切り詰めて活動をするのではなく、いったん一息ついてから次の活動をするようにしました。自分の気持ちを楽にしてくれる大切な言葉なんです。

【山口先生】 私は学者で、元保育者ではないため、学生に何が伝えられるのかわからないと思っ張っています。完璧ではない自分を見せるとともに、ゼミではお茶を点てたり、プライベートな話を聞いたりする時間も大切にしてきました。こうした時間が学生にとっての余白につながっていったらうれしいです。

——教員と学生の距離が近く、特色ある取り組みをされているのが伝わってきます。

【山口先生】 和光大学に着任して感じたのは、学生が自分の頭で考えるための土壌が用意されていることです。夏には竹を切って流しそうめんをする学生もいれば、冬には寒いからとたつを置く学生もいます。こうした活動は、自分の頭で



和光大学 現代人間学部  
心理教育学科 准教授  
**山口 理沙**  
Yamaguchi Risa

マサチューセッツ大学卒業、青山学院大学大学院修了。聖セシリア女子短期大学(2021年閉学)等を経て現職。専門は教育思想、幼児教育学。近年はファッションと教育、絵本学について研究。

和光大学 卒業  
2026年4月 入職  
**苑田 翔太**  
Sonoda Syota

和光大学経済経営学部卒業後、保育に携わりたいという想いから、同大学現代人間学部に入學。在学中は、体を動かしたり表現したりする授業が好きで、意欲的に取り組んだそう。

※取材当時は内定者



4月から同法人が運営する、至誠館なしのな保育園に入職する苑田さん。山口先生は「これからの活躍をとでも楽しみにしています。卒業後も苑田さんの成長を見守り、心から応援しています」とエールを送り、学生生活の思い出話に花を咲かせるひとときとなった。



社会福祉法人厚生館福祉会

<お問合せ>
神奈川県川崎市
多摩区菅稲田堤1-10-1
☎044-944-5451
設立:1952年2月

神奈川県川崎市を中心に、乳児院、保育所、小規模保育所、一時保育、学童保育など子どもに関わる事業を展開している。法人理念「至誠」のもと、子ども一人ひとりを大切に、じっくりと向き合いながら保育を行っている。さまざまな園があり、それぞれの個性や特徴がしっかり確立されているので職員に合った園が見つけやすい。



和光大学

<お問合せ>
東京都町田市
金井ヶ丘5-1-1
☎044-989-7777
設立:1966年

大学をつくるのは教員や職員だけではなく、学生も含めた全員という考えのもと、現代人間学部、表現学部、経済経営学部が設置されている。「異質力で、輝く。」をモットーに指導しているのが特徴。心理教育学科の子ども教育専修保育コースにて、保育士・幼稚園教諭を育成している。保育に加えて、教育学や心理学についても学べる。



和光大学は豊かな緑につつまれた小高い丘にあり、屋上からは大きなグラウンドや自然の景色が見渡せる。



製作素材や絵本が充実し、ピアノも自由に使える。実習準備を落ち着いて進められる部屋として活用されている。



山口先生の研究室は自然と学生が集まり、会話を楽しみながらリラックスできる場所になっている。



どのような授業でも積極的に取り組んできた苑田さん。特に好きだったのは、子どもの体育や、表現の授業だったという。



「子どもの気持ちに寄り添い、自分の頭で考え、自分の言葉で語れる保育者を育てたいと考えています」

考える中から生まれるものです。学生が主体的に考えることを大切にしているからこそ、そうした取り組みを自由に行うことができます。互いに信頼し合う中で、学生も自然と責任をもって行動しているのだと感じます。こうした環境で保育を学べば、きっと面白いものが生まれるだろうと期待しています。私自身、自分の頭で考えて自分の言葉で語ることができ保育者を育てたいと考えています。自ら考えることが求められる環境で、苑田さんは時間をかけて学んできました。だからこそ、卒業した後も和光大学らしさを職場で開花してくれるのではないかと感じています。

【苑田さん】和光大学は自分らしさを大切にしている学生がとても多い大学だと思います。個性的なファッションの学生もいて、それぞれが自分の感覚を大切に

た。子どもにどのように声を掛けたらこちらに目を向けてくれるのか、どうすれば今までの活動を自分と一緒にしてくれるのかなど、目線の向け方や言葉がけ、体の向け方などを学べました。

【山口先生】苑田さんは「話を聞いてほしい」とよく研究室を訪れて、園でのエピソードを教えてください。運動会の準備の際には、大人だけで準備をして子どもが参加するのではなく、子どもたちと一緒につくり上げたそうです。その結果としてダイナミックな活動になり、実際に運動会ができあがったのを見たとき、それは大学では提供できない学びだと感じました。教科書には載っていない、目の前の子どもたちと目の前の行事に向けた、現場の生きた保育です。私自身、その話を聞いて学ばせてもらっています。

——山口先生は、学生にどんな保育者

になつてほしいですか？

【山口先生】自分の頭で考え続けられる人、向上していける人、そして困難があっても挑戦してみる人です。日々の保育やプライベートでの出来事から、成長するための気づきをたくさん得てほしいです。保育の仕事はたくさんの人に出会う仕事なので、これから出会うすべての人から多くを学びとってもらいたいのです。そして素敵なことも大変なことも、仲間や母

校の教員にこれからもぜひ教えてほしいです。職場の方々と過ごす時間は、私たち母校の教員と過ごす時間よりもこれから何倍も長くなっていくので、もの悲しさもあります。でも、養成校の教員と耕した保育の根つことともに、成長してくれると嬉しいのです。

【苑田さん】山口先生の良いところは、学生との間に壁がないところです。悩み

【山口先生】もともと厚生館福祉会は、私が本校に来る前から教え子ご縁をいただいています。研修で呼んでいたことも多く、現場の先生と関わる機会感謝しています。

【苑田さん】山口先生の紹介で、厚生館福祉会で実習をした後、アルバイトとして働き、大学卒業後はそのまま入職する予定です。紹介してくれた山口先生には感謝しています。

【山口先生】私も厚生館福祉会は、私が本校に来る前から教え子ご縁をいただいています。研修で呼んでいたことも多く、現場の先生と関わる機会感謝しています。

【苑田さん】山口先生の良いところは、学生との間に壁がないところです。悩み

も多くありました。法人内で多くの施設を運営しており、サークル活動や研修、園同士の交流保育なども行われています。そうした取り組みから、風通しのよい法人だという印象を持っていたので、苑田さんから相談を受けた時に、「一度、見学に行ってみては？」と伝えました。

——実習先を探すにあたっては、かなり比較検討をされたのですか？

【苑田さん】山口先生以外の先生方の紹介も得て、20園以上見学に行きました。私はほかの学生よりも4年間遠回りをしていて分、本当に行きたいところにしよ

うと決めていたので、見学に力を入れたい。厚生館福祉会は、保育や子どもに対する姿勢に惹かれました。全体でひとつの保育を完成させようという志があり、上下の立場を超えた結びつきも強いのが印象的でした。実際に実習やアルバイト

でも何でも打ち明けられますし、こうやって親身になってくださるのが、本当にうれしいです。

——苑田さんは、これからどのような保育者になりたいのですか？

【苑田さん】絵本の読み聞かせや手遊びなどの技術面を磨きながら、子どもたちが今何をしたいのかに気づき、その思いに寄り添った遊びを提供できるように保育者になりたいです。自由に遊ぶにはメリハリも大切だと感じているので、メリハリのある保育者を目指します。園に先輩が実習で来た際には、要点をしっかりと教えながら、園の良さを伝えていきたいですね。

【山口先生】苑田さんは周囲の変化によく気づく方なので、子どもたちや保護者同僚に対してもその気づきを大切にしながら関わっていきけるのではないかと感じ

ています。経済経営学部を卒業し、園でのアルバイト経験もあるため、周りから期待を寄せられる場面も多いかと思

【苑田さん】子どもとの関係性を以前よりもスムーズにつくれるようになりま

【苑田さん】これから長く厚生館福祉会に勤めていくなかで、保育だけではなく人材開発などいろいろな面で頑張りたいです。そうした分野でも頑張れば、山口先生と仕事で会う機会も増えると思いますし、そう思えばより頑張れます。就職後も山口先生に会いに行き、いろんな話をしたいと思います。

【山口先生】苑田さんが卒業したら、次はどのようなかたちで会えるのか、今から楽しみです。

【山口先生】苑田さんが卒業したら、次はどのようなかたちで会えるのか、今から楽しみです。